

おきなわ監督署だより 9月号

(平成26年9月30日 沖縄労働基準監督署 発行)

お知らせ 1

平成26年1月～8月までの業種別労働災害発生状況（沖縄労働基準監督署管内）



全産業の減少傾向が続いています。

ゼロ災運動の効果か！建築工事業が大幅に減少しています。

- 全産業の死傷者数は、150件と前年比-7.4%の減少となっています。
- △ 製造業の減少傾向にブレーキが。食料品製造業は、前月に続き昨年と同数になっています。
- 建設業は、前年比-38.6%とさらに減少し、ゼロ災運動を展開中の建築工事業は昨年同期の40件と比較し、今年は17件と57.5%の減少となっています。
- △ 第三次産業がやや増加していますが、昨年大幅に増加した社会福祉施設は21.1%減です。その他の業種、駐留軍間接雇用の増加が第三次産業の数字を押し上げています。

平成26年8月末（速報値）

50%以上減 ■

50%以上増 ■

100%以上増 ■

	平成26年	平成25年	増減の状況 (対前年比)	
	死傷（死亡）	死傷（死亡）	死傷者数	増減率（%）
全産業	150 (1)	162 (1)	-12	-7.4
製造業	22	23	-1	-4.3
食料品製造業	13	13	0	0.0
建設業	27 (1)	44 (1)	-17	-38.6
土木工事業	4 (1)	4	0	0.0
建築工事業	17	40 (1)	-23	-57.5
その他の建設業	6	0		
運輸業	3	5	-2	-40.0
陸上貨物運送業	2	5	-3	-60.0
第三次産業 (運輸を除く)	97	87	10	-11.5
商業	14	21	-7	-33.3
接客娯楽業	12	11	1	9.1
保健衛生業	22	20	2	10.0
社会福祉施設	15	19	-4	-21.1
ビルメンテナンス業	10	12	-2	-16.7
その他の業種	39	23	16	69.6
警備業	6	5	1	20.0
駐留軍間接雇用	16	7	9	128.6

「平成26年度中部地区労働衛生管理推進大会」 が開催されました。

全国労働衛生週間準備期間が始まったばかりの9月2日、沖縄県各地区の先陣を切って標記の大会が沖縄市産業交流センター(沖縄市泡瀬)において、下記の内容により盛大に開催されました。

参加者一同、全国ワースト1の可能性が大となっている沖縄中部地区の定期健康診断結果の有所見率からの脱却を決意し、指差唱和に力を込めていました。

記

主な内容 黙とうに始まって

- ① 主催者、監督署長あいさつ
- ② 労働衛生週間趣旨説明及び改正安衛法説明
- ③ 沖縄産業保健総合支援センター事業説明
- ④ 特別講演「職場の禁煙対策の進め」労働安全衛生コンサルタント
- ⑤ 大会宣言
- ⑥ 指差唱和

主催 一般社団法人沖縄県労働基準協会中部支部・建設業労働災害防止協会沖縄県支部中部分会
沖縄産業保健総合支援センター

後援 沖縄労働基準監督署



おおぜいの参加者の皆様

署長のあいさつ要旨はこちら⇒

[クリック](#)



指差唱和 「みんなで進める職場の改善 心とからだの健康管理」 ヨォッシ!

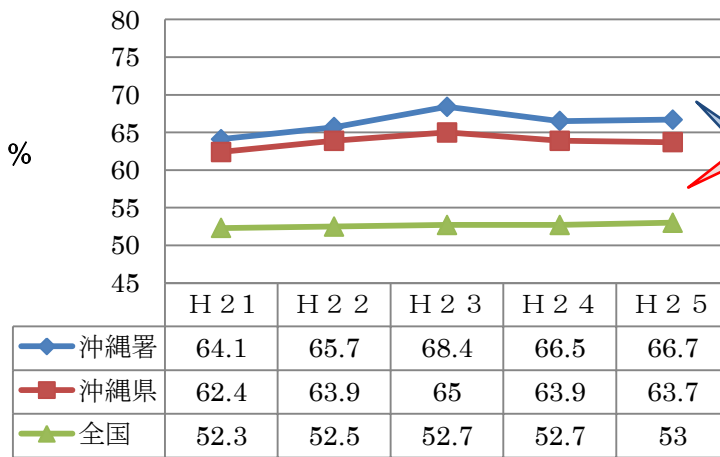
沖縄監督署管内の有所見率は、今年も全国ワースト1か

平成 25 年の定期健康診断結果がまとまりました。県内全体で全国ワースト 1 という結果ですが、沖縄署は沖縄県ワースト 1 です。
 ということは、沖縄署管内が全国ワースト 1 の可能性大です。

↓

平成 2 5 年の職場における定期健康診断結果

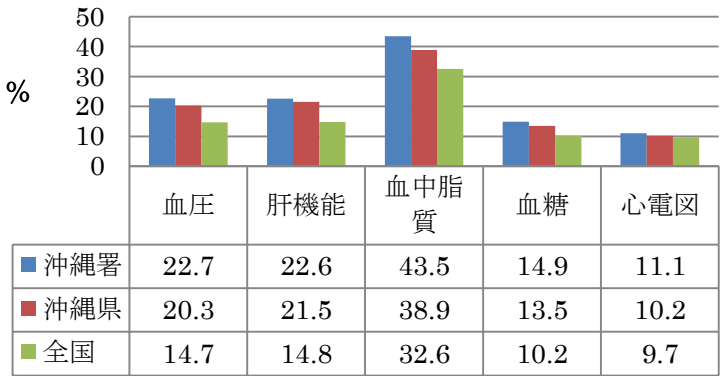
定期健康診断有所見率の推移



ワースト 1
 全国平均を
 10.7 ポイント
 上回る

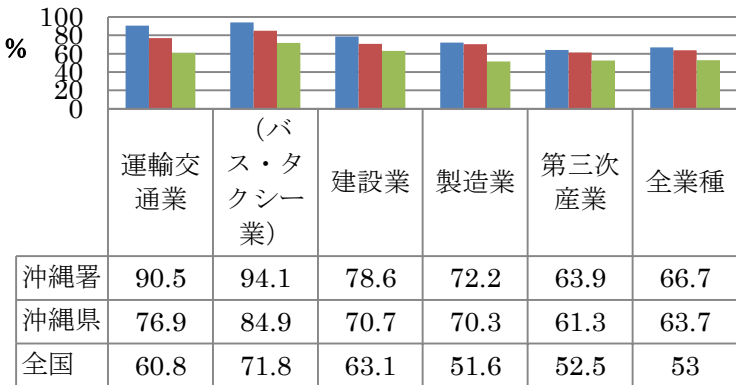
沖縄署は、県内
 ワースト 1
 県平均を 3 ポイント
 上回る

平成25年診断項目別有所見率の比較



生活習慣を要因とする診断項目で沖縄署はいずれも県の平均値を上回る。

平成25年業種別有所見率の比較



運輸交通業、中でもバス・タクシー業は、100%に届きそうな有所見率。建設業も高レベル。

定期健康診断結果の

有所見率改善のために沖縄労働局から二つの提言

提言① Webサイト「おきなわを歩こう」への登録呼びかけ

生活習慣を原因とする項目の有所見率を改善するために運動習慣を取り入れましょう。
まずは、ウォーキングからスタート。労使で取り組みましょう。

楽しみながらウォーキングを行うために、ウェブサイトに歩数を入力して沖縄一周マップを完歩しましょう。

クリック



沖縄監督署でも前期(7月1日～9月30日)に職員の過半数が参加し、9月20日現在、1グループ(3名)と1名が完歩しています。後期も肥満解消やマラソンシーズンへの練習とモチベーションアップして完歩者を増やします。



ゆいコース(3人組)にエントリーした「チームグッピー」は8月25日に早くも完歩した。
なんくるコース(一人参加)にエントリーした「ヤンバルクイネエ」は9月18日まで何とか完歩した。



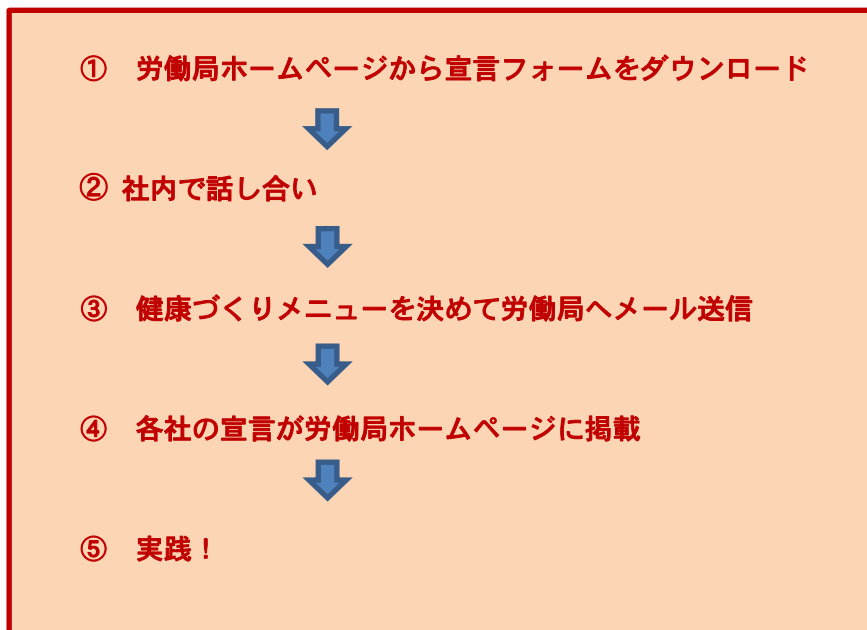
監督署の入り口にのぼりを立て来署者にアピール

提言② 「健康経営」宣言企業を募集

社員の健康を大切にすることで、会社の成長力・活力を高める概念が「健康経営」と呼ばれ、今注目されています。（「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。）

沖縄労働局は、県内の企業から「健康経営」宣言を募り、沖縄労働局のホームページに掲載・公表することとしています。

「健康経営」宣言登録のイメージ



ひやみかち健康経営宣言



ロゴをクリック



化学物質管理講習会を2回実施しました！

一昨年、社会的に注目された印刷工場での胆管がんの発生事案などを受け、法令遵守はもとよりリスクアセスメントに基づく自主的な化学物質管理の徹底が課題となっています。

そこで、沖縄労働局と沖縄監督署は、化学物質管理を行うための基本的な知識の周知や再確認を行っていただくため8月と9月の2回、管内の化学物質使用事業場を対象に下記のとおり講習会を開催しました。

記

第1回	8月5日(火)	於： 沖縄県工業技術センター	
対象事業主		管内の主要化学物質使用事業場	20社出席
内 容		・労働災害の現状等 ・化学物質管理について	沖縄労働局健康安全課長 沖縄労働局衛生専門官
第2回	9月19日(金)	於： 沖縄市老人福祉センター	
対象事業主		沖縄県自動車整備振興会中部支部	92社出席
内 容		・化学物質管理について ・自動車整備業の労働災害防止対策	沖縄労働局衛生専門官 沖縄監督署安全衛生課長

説明資料

⇒ **平成26年度化学物質管理講習会**



⇒ **自動車整備業における板金塗装業務等に係る労働災害防止対策**



リスクアセスメントの実践には、

厚生労働省 リスクアセスメント実施支援システム

を活用しましょう。⇒ http://anzeninfo.mhlw.go.jp/ras/user/anzen/kag/ras_start.html

平成26年度建設工事関係者連絡会議を開催しました！

建設業は、全国的に人材不足が深刻であり、現場の安全管理に支障を来すことが懸念されることから、工事を施工する建設事業者の取組だけではなく発注機関が工事の安全衛生にこれまで以上に配慮した発注条件で発注することや、発注者、施工者、労働災害防止行政機関が緊密に連携して労働災害防止対策を進めて行くことが必要となっています。

沖縄監督署管内でも、昨年は公共工事を含む建築工事において労働災害が大幅に増加し、死亡災害も発生していることから、昨年まで開催してきた「発注機関連絡会議」に建設施工者、労働災害防止団体の参加をいただき、新たに「建設工事関係者連絡会議」としてスタートさせ、9月4日(木)に第1回目の会議を下記のとおり開催しました。

今後は、各機関の連携をさらに強め、労働災害防止のための効果的な対策に取り組んでいきます。

記

日 時 平成26年9月4日 14:00～16:00 場所 沖縄県工業技術センター

出席者(構成員) 県・市町村発注機関16機関(構成員26機関)
建設業労働災害防止協会沖縄県支部中部分会(建災防)
沖縄県建設業協会中部支部
沖縄労働基準監督署

内容	・ 監督指導結果について	沖縄監督署 監督課長
	・ 労働災害発生状況について	同 労働基準監督官
	・ 発注機関に対する要請について	同 安全衛生課長
	・ 各機関、団体の取組について	建災防中部分会長、参加発注機関
	・ 情報交換	



沖縄労働基準監督署

〒904-0003 沖縄市住吉 1-23-11 沖縄労働総合庁舎 3 (098) 982-1263

賃金・解雇・年休・サービス残業・過重労働・パワーハラスメントなどの

労働相談は、沖縄総合労働相談コーナー へ (098) 982-1400